



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名 グンゼ株式会社

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 弘

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部 (氏名) 富岡 修  
広報IR室長

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	67,059	△0.3	609	△63.5	635	△64.9	329	△54.2
23年3月期第2四半期	67,228	△1.7	1,667	47.9	1,808	34.4	719	51.7

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △1,312百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △2,604百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.71	1.70
23年3月期第2四半期	3.68	3.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	169,365	111,226	64.9
23年3月期	163,917	113,345	68.6

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 109,891百万円 23年3月期 112,448百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	7.50	7.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,500	7.3	3,500	13.5	3,400	3.5	2,100	16.9	10.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	209,935,165 株	23年3月期	209,935,165 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	16,864,290 株	23年3月期	16,853,412 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	193,075,423 株	23年3月期2Q	195,772,433 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 四半期決算補足説明資料 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災とその後の電力制限による企業活動や個人消費の低迷に加え、欧米の金融不安と新興国の成長鈍化並びに原材料等の高騰や円高進行など、厳しい経営環境が続きました。

当社グループにおいては、機能ソリューション事業では、震災によりサプライチェーンが混乱する中、迅速なデリバリー対応や電力制限に対する前倒し生産などにより影響を比較的軽微に抑えることができました。アパレル事業においては、綿花を中心とする原材料価格の高騰や海外労務費の上昇に加え、PB（プライベートブランド）商品の増加などから、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のなかで、今期からスタートさせた中期経営計画『Innovation 4S（平成23年度～平成25年度）』の重点戦略である「成長確保」と「体質強化」を展開し、激変する市場環境への対応力強化に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は67,059百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は609百万円（前年同期比63.5%減）、経常利益は635百万円（前年同期比64.9%減）、当期純利益は329百万円（前年同期比54.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野では、震災後の供給不足や電力制限による前倒し需要に加えて猛暑効果もあり、平板収縮フィルムおよびナイロンフィルムが順調に推移しました。また連結子会社の福島プラスチック(株)では、電力制限による操業調整等の対応を余儀なくされましたが、輪番操業など効率的生産により影響を最小限に抑えました。エンジニアリングプラスチック分野では、震災の影響は限定的でしたが、円高と欧米の景気悪化による需要低迷の影響を受けました。電子部品分野は、タブレット端末向け透過型静電容量方式タッチパネルが伸長しましたが、仕様変更や量産立上げ遅れなどにより、利益貢献には繋がっていませんでした。メディカル分野は、骨接合材と人工皮膚が好調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は26,142百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は1,928百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

#### <アパレル事業>

インナーウェア分野は、シーズン機能商品（クールマジック等）が節電需要により堅調に推移しましたが、ファッション・カジュアル商品が苦戦しました。一方、綿花などの原材料価格高騰に対して、8月出荷より一部商品で値上げを実施しました。レッグウェア分野では、震災後の消費マインドの変化により柄物をはじめとするファッション商品は苦戦しましたが、機能性を打ち出したシーズン商品やソックスは好調に推移しました。以上の結果、アパレル事業の売上高は35,323百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は110百万円（前年同期比78.2%減）となりました。

#### <ライフクリエイイト事業>

不動産関連分野は、商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」は、地域密着型の販売促進に努めましたが、消費の低迷および近隣の商業施設のオープン・増床等の影響もあり苦戦しました。なお、昨年10月に賃貸契約を解除した前橋商業施設については、後継テナントが決定し、12月初旬から営業開始する予定であります。スポーツクラブ分野では、新規顧客の獲得に向けた新メニューの導入と効率運営により、堅調に推移しました。以上の結果、ライフクリエイイト事業の売上高は6,169百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は324百万円（前年同期比51.2%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、169,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,447百万円増加しました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加3,039百万円、たな卸資産の増加5,010百万円であり、主な減少要因は、投資有価証券の減少2,779百万円であります。

負債は、58,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,567百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の増加7,869百万円であります。

純資産は、111,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,119百万円減少しました。主な減少要因は、配当による減少1,448百万円、その他有価証券評価差額金の減少1,484百万円であり、主な増加要因は、少数株主持分の増加408百万円、四半期純利益の計上による増加329百万円であります。

### (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ278百万円減少し、6,626百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動に使用されたキャッシュ・フローは、2,789百万円（前年同期は2,165百万円の収入）となりました。主なキャッシュ・インは減価償却費3,960百万円、税金等調整前四半期純利益765百万円であり、主なキャッシュ・アウトはたな卸資産の増加4,942百万円、売上債権の増加2,522百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して36百万円減少し3,941百万円となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は機能ソリューション事業の設備投資など固定資産の取得による支出3,747百万円であります。

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して3,943百万円増加し6,346百万円となりました。主なキャッシュ・インの要因は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加5,468百万円、長期借入れによる収入2,500百万円、主なキャッシュ・アウトの要因は配当金の支払1,437百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、平成23年5月13日に発表した平成24年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

そのため、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,905	6,626
受取手形及び売掛金	27,122	30,162
商品及び製品	17,436	19,843
仕掛品	6,423	7,803
原材料及び貯蔵品	5,673	6,897
その他	4,189	4,455
貸倒引当金	△28	△18
流動資産合計	67,722	75,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,770	37,780
機械装置及び運搬具（純額）	12,811	16,130
土地	11,996	11,948
その他（純額）	5,890	2,749
有形固定資産合計	67,468	68,608
無形固定資産	2,190	1,984
投資その他の資産		
投資有価証券	16,698	13,919
その他	9,985	9,227
貸倒引当金	△147	△145
投資その他の資産合計	26,536	23,001
固定資産合計	96,194	93,594
資産合計	163,917	169,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,844	8,546
短期借入金	3,993	5,907
コマーシャル・ペーパー	12,800	16,800
1年内返済予定の長期借入金	1,081	1,080
未払法人税等	509	542
賞与引当金	1,311	1,355
その他	7,717	8,251
流動負債合計	35,257	42,483
固定負債		
長期借入金	5,175	7,132
退職給付引当金	4,623	3,223
長期預り敷金保証金	4,906	4,666
その他	608	633
固定負債合計	15,313	15,655
負債合計	50,571	58,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,082	14,081
利益剰余金	80,033	79,006
自己株式	△7,286	△7,288
株主資本合計	112,900	111,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,592	1,108
繰延ヘッジ損益	△416	△447
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	△2,228	△2,239
その他の包括利益累計額合計	△452	△1,979
新株予約権	200	228
少数株主持分	697	1,106
純資産合計	113,345	111,226
負債純資産合計	163,917	169,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	67,228	67,059
売上原価	48,871	50,017
売上総利益	18,357	17,041
販売費及び一般管理費	16,690	16,431
営業利益	1,667	609
営業外収益		
受取利息	12	1
受取配当金	209	219
固定資産賃貸料	295	319
投資有価証券割当益	145	—
その他	128	136
営業外収益合計	791	677
営業外費用		
支払利息	81	67
固定資産賃貸費用	281	330
為替差損	162	160
その他	124	92
営業外費用合計	650	650
経常利益	1,808	635
特別利益		
固定資産売却益	59	28
貸倒引当金戻入額	11	—
退職給付信託設定益	969	1,492
その他	—	37
特別利益合計	1,039	1,558
特別損失		
固定資産除売却損	95	122
投資有価証券評価損	8	—
退職給付費用数理差異償却額	1,123	1,246
事業構造改善費用	287	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62	—
その他	24	59
特別損失合計	1,602	1,428
税金等調整前四半期純利益	1,245	765
法人税等	504	532
少数株主損益調整前四半期純利益	740	233
少数株主利益又は少数株主損失(△)	21	△96
四半期純利益	719	329



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	740	233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,634	△1,484
繰延ヘッジ損益	△274	△31
為替換算調整勘定	△436	△29
その他の包括利益合計	△3,345	△1,545
四半期包括利益	△2,604	△1,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,610	△1,197
少数株主に係る四半期包括利益	5	△115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,245	765
減価償却費	3,861	3,960
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△684	186
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	32
受取利息及び受取配当金	△222	△221
支払利息	81	67
固定資産除売却損益 (△は益)	36	94
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	8	—
退職給付信託設定損益 (△は益)	△969	△1,492
退職給付費用数理差異償却額 (△は益)	1,123	1,246
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62	—
事業構造改善費用	287	—
その他の損益 (△は益)	52	147
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,442	△2,522
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△657	△4,942
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	190	△152
仕入債務の増減額 (△は減少)	730	450
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△47	△240
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△293	△59
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△12	138
小計	2,336	△2,551
利息及び配当金の受取額	221	221
利息の支払額	△67	△76
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△325	△382
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,165	△2,789
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△4,044	△3,747
固定資産の売却による収入	69	87
固定資産の除却による支出	△45	△61
投資有価証券の取得による支出	△22	△284
貸付金の増減額 (△は増加)	7	47
その他	57	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,977	△3,941

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金及び商業・ペーパーの増減額 (△は減少)	3,462	5,468
長期借入れによる収入	2,900	2,500
長期借入金の返済による支出	△1,300	△540
配当金の支払額	△1,469	△1,437
自己株式の取得による支出	△1,163	△5
その他	△26	360
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,402	6,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	△86	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	504	△387
現金及び現金同等物の期首残高	5,496	6,905
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	0	109
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,001	6,626

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリ エイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,592	36,590	6,045	67,228	—	67,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	91	451	622	△ 622	—
計	24,672	36,682	6,497	67,851	△ 622	67,228
セグメント利益	2,159	504	664	3,328	△ 1,660	1,667

(注)セグメント利益の調整額△1,660百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリ エイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,062	35,248	5,747	67,059	—	67,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	74	421	575	△ 575	—
計	26,142	35,323	6,169	67,634	△ 575	67,059
セグメント利益	1,928	110	324	2,364	△ 1,754	609

(注)セグメント利益の調整額△1,754百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期決算補足説明資料

**2011年度 第2四半期 連結決算概要**

(1) 当第2四半期（6ヶ月）の業績等

(単位：百万円)

項目	当期実績 ('11/4-9)		前年同期 ('10/4-9)		増減 上段( )は 増減率
	金額	対前	金額	対前	
売上高	67,059		67,228		(△0.3) △169
営業利益	609		1,667		(△63.5) △1,058
経常利益	635		1,808		(△64.9) △1,172
税金等調整前 四半期純利益	765		1,245		(△38.6) △479
四半期純利益	329		719		(△54.2) △389
総資産	169,365		168,463		(0.5) 901
たな卸資産	34,544		30,358		(13.8) 4,185
固定資産	93,594		97,990		(△4.5) △4,395
純資産	111,226		112,310		(△1.0) △1,084
金融収支 (受取利息・配当)	153 (221)		140 (222)		13 (△0)
(支払利息)	(△67)		(△81)		(14)
設備投資	6,991		2,958		4,033
減価償却費	3,960		3,861		99

**<業績概況>**

- 機能ソリューション事業は電子部品の透過型静電容量方式タッチパネルが伸長するも、量産化対応遅れ等から目標未達
- アパレル事業は原材料価格の高騰や市場競争の激化等から苦戦
- ライフクリエイト事業は前橋の後継テナント決定遅れ等から対前期減収減益

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益は業績予想を上回ったものの対前期では減収減益

**<主たる特別損益>**

- 退職給付費用数理差異償却損 12億円
- 退職給付信託設定益 14億円

**<通期予想>**

- 機能ソリューション事業の受注状況及びアパレル事業の原材料高騰への吸収対策が想定範囲内で推移しているため、既公表の業績予想から修正していない
- 年間配当は、1株当たり7円50銭を予定

(注) 自己株式の取得等の状況

	(株数)	(金額)
・取得した自己株式 (単元未満株式買取含む)	19 千株	5 百万円
・処分した自己株式	△ 8 "	△ 3 "
・前期末に保有していた自己株式	16,853 "	7,286 "
・当期末に所有している自己株式	16,864 "	7,288 "

(2) 事業のセグメント別業績

(単位：百万円)

項目	当期実績 ('11/4-9)		前年同期 ('10/4-9)		増減		
	金額	対前	金額	対前	金額	増減率	
売上高	機能ソリューション	26,142	38.7	24,672	36.4	1,470	6.0
	アパレル	35,323	52.2	36,682	54.1	△1,359	△ 3.7
	ライフクリエイト	6,169	9.1	6,497	9.5	△328	△ 5.0
	小計	67,634	100.0	67,851	100.0	△217	△ 0.3
	連結計	67,059		67,228		△169	△ 0.3
営業利益	機能ソリューション	1,928	81.6	2,159	64.9	△231	△ 10.7
	アパレル	110	4.7	504	15.1	△394	△ 78.2
	ライフクリエイト	324	13.7	664	20.0	△340	△ 51.2
	小計	2,364	100.0	3,328	100.0	△964	△ 29.0
	消去・全社	△ 1,754		△ 1,660		△94	-
連結計	609		1,667		△1,058	△ 63.5	

(3) 主要経営指標

項目	当期実績 ('11/4-9)	前年同期 ('10/4-9)	増減
総資産			
営業利益率 %	0.4	1.0	△ 0.6
総資産			
経常利益率 %	0.4	1.1	△ 0.7
売上高			
営業利益率 %	0.9	2.5	△ 1.6
売上高			
経常利益率 %	0.9	2.7	△ 1.8
自己資本			
比率 %	64.9	66.2	△ 1.3
自己資本			
四半期純利益率 %	0.3	0.6	△ 0.3
一株当たり			
四半期純利益 円	1.71	3.68	△ 1.97
潜在株式調整後			
一株当たり			
四半期純利益 円	1.70	3.67	△ 1.97
一株当たり			
純資産 円	569.18	577.08	△ 7.90

(4) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期実績	前年同期	増減	当期('11/4-9)の主たる内訳
	('11/4-9)	('10/4-9)		
営業活動によるCF	△ 2,789	2,165	△4,955	減価償却費 3,960、税金等調整前四半期純利益 765、 たな卸資産の増加額△4,942、売上債権の増加額△2,522
投資活動によるCF	△ 3,941	△ 3,977	36	固定資産の取得△3,747
財務活動によるCF	6,346	2,402	3,943	短期借入金及びCPの増加 5,468、長期借入れによる収入 2,500、 配当金支払△1,437
換算差額	△ 3	△ 86	82	
現金及び現金同等物の 期中増加高	△ 387	504	△892	
連結の範囲の変更に 伴う増加	109	0	108	
現金及び現金同等物の 期末残高	6,626	6,001	625	

(5) 事業部門の設備投資及び減価償却費

(単位：百万円)

項目	当期年間計画			前年通期		対前期 増減
	金額	ウエト	うち2Q累計	金額	ウエト	
設 備 投 資	(うち海外)	(4,000)		(1,469)	(920)	
	機能ソリューション	11,900	70.0	5,898	2,325	38.8
	(うち海外)	(700)		(299)	(499)	
	アパレル	1,700	10.0	529	1,870	31.2
	ライフクリエイト	2,900	17.1	475	311	5.2
	全 社	500	2.9	89	1,489	24.8
減 価 償 却 費	(うち海外)	(4,700)		(1,768)	(1,419)	
	機能ソリューション	4,500	51.7	1,918	3,680	46.6
	アパレル	1,900	21.8	914	2,011	25.5
	ライフクリエイト	1,300	14.9	656	1,316	16.7
	全 社	1,000	11.6	471	890	11.2
	合 計	8,700	100.0	3,960	7,898	100.0

【当期の主要投資計画】

- ・プラスチックフィルム生産設備 5,300
- ・電子部品生産設備 5,300
- ・商業施設再開発 2,900

(注1) 設備投資額は建設仮勘定からの編入ベース。

(注2) 設備投資額には無形固定資産を含む。

(6) 通期業績予想

(単位：百万円)

項 目	当期予想	前年通期	増減
			(上段( )は増減率)
売 上 高	143,500	133,705	(7.3) 9,795
営 業 利 益	3,500	3,085	(13.5) 415
経 常 利 益	3,400	3,285	(3.5) 115
当期純利益	2,100	1,796	(16.9) 304

(7) 事業の種類別セグメント業績予想

(単位：百万円)

項 目	当期予想		前年通期		増減			
	金額	ウエト	金額	ウエト	金額	増減率		
売 上 高	機能ソリューション	56,700	39.2	47,013	34.9	9,687	20.6	
	アパレル	74,800	51.6	74,524	55.2	276	0.4	
	ライフクリエイト	13,400	9.2	13,396	9.9	4	0.0	
	小 計	144,900	100.0	134,934	100.0	9,966	7.4	
消 去	消 去	△ 1,400		△ 1,229		△ 171	-	
	連 結 計	143,500		133,705		9,795	7.3	
	営 業 利 益	機能ソリューション	4,600	64.8	4,114	62.3	486	11.8
		アパレル	1,600	22.5	993	15.0	607	61.1
ライフクリエイト		900	12.7	1,497	22.7	△597	△ 39.9	
小 計		7,100	100.0	6,604	100.0	496	7.5	
消 去	消去・全社	△ 3,600		△ 3,519		△ 81	-	
	連 結 計	3,500		3,085		415	13.5	